

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	電磁気学第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Electromagnetism I		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	上野 芳康		
居室	西2-310		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ueno@ee.uec.ac.jp	http://www.edu.cc.uec.ac.jp/~ueno/classes-tmp.html

【主題および達成目標】
「電磁気学第一」の演習を行う。3次元空間の電界や電位などの解析計算を通して、目に見えない電荷と電場の概念をつかみ、一連の基本問題を一步一步努力・時間をかけて理解すること。

【前もって履修しておくべき科目】
微分積分学、線形代数学、工学基礎演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
波動と光、解析学

【教科書等】
教科書： 渡辺・青柳著、工科の物理3 電磁気学、培風館 参考書： 中山著、電磁気学、裳華房

【授業内容とその進め方】
「電磁気学第一」の次の4項目に沿った演習問題(=レポート課題)を毎回数題出題し、数日以内にレポート提出してもらいます。毎回の最初に履修生数名を選び、1問ずつ解答を板書・簡潔に発表してもらいます。不十分や間違いを、私が指摘・説明します。
1. 電荷と静電場(4回程度)
2. 電位と導体(4回程度)
3. 誘電体(4回程度)
4. 定常電流(2回程度)

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

上記4項目それぞれの基本的理解度を、出席点・発表点・レポート提出解答点で評価します。数式・数値を導出し、かつ、簡潔な文章で説明できれば「理解している」とみなします。授業時間に問題解答を板書・説明すると、発表点を与えます。また、レポートの良い例・ウィットに富んだ例・悪い例を紹介します。

成績評価 = (出席点 × 20%) + (発表点 × 30%) + (レポート提出解答点 × 50%) です。

【オフィスアワー：授業相談】

金曜日 6限

(訪ねても不在だった場合はその旨メールください。)

【学生へのメッセージ】

最重要かつ最難関科目の1つであり、中間試験や期末試験直前の駆け込み勉強は絶対不可能です。演習問題1つ1つを辛抱強く考え続けるか否かにかかっています。多少わからないことが残っても諦めないこと。

【その他】